

# 外来診療担当医師表

令和5年5月～

時間	診察室	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	診察室 1				一般・糖尿病内科 にしだ 西田	整形リハビリ科 まつもと 松元		整形リハビリテーション科 熊本大学病院 整形外科医師
	診察室 2	一般内科 副院長 まつだ 松田	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	一般・消化器内科 内科部長 とよだ 豊田	一般内科 副院長 まつだ 松田	(1・5週) ほりお 堀尾 (2週) ふくしま 福嶋 (3・4週) いちやす 一安	呼吸器内科
	診察室 3					脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持		一般・糖尿病内科 代謝内科担当医師
	診察室 5	一般・消化器内科 診療部長 さとう 佐藤	呼吸器内科 えびはら 蛭原	呼吸器内科 えびはら 蛭原	呼吸器内科 えびはら 蛭原			
	診察室 7	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原			【お知らせ】 整形リハビリテーション科の 平日診療は現在調整中です。
午後	診察室 1			一般・糖尿病内科 にしだ 西田 (16:00迄)		一般・消化器内科 総院長 いけ 池井		外来診療時間 午前診療 9:00～12:30 (受付は12:00まで) 午後診療 13:30～17:30 (受付は17:00まで) ※土曜日は午前診療のみ ※なお、急患はこの限りでは ございません。
	診察室 2	呼吸器内科 いちやす 一安 (14:00～16:00)	一般・消化器内科 内科部長 とよだ 豊田	一般・消化器内科 診療部長 さとう 佐藤	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持		
	診察室 3			脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持				

※内視鏡外来(月～金曜の午前・完全予約制)(緊急時を除く)

訪問診療 (午後)	とよだ 豊田	院長 うえはら 上原	さとう 佐藤	院長 うえはら 上原	院長 うえはら 上原
内視鏡	とよだ 豊田	さとう 佐藤	とよだ 豊田	さとう 佐藤	とよだ 豊田

予約の状況や  
検査・処置等により、  
順番が前後したり  
時間がかかる  
ことがあります。  
あらかじめ  
ご了承ください。



# くまもと成仁病院



〒861-8041 熊本市東区戸島2丁目3番15号  
電話 096-380-7011  
FAX 096-380-9223  
ホームページ <https://seijin-kumamoto.or.jp>

第53号  
発行日  
令和5年5月1日

だより



令和5年度 新入職者

お問い合わせは くまもと成仁病院 (外来受付) Tel.096-380-7011

お知らせ 詳細につきましては当院総務課までお問い合わせください  
(お問い合わせ先 総務課 ☎096(380)7011)

感染状況をみながら、今年度は病院地域行事(健康祭りや夏まつり等)を開催時期や内容も含め検討中です!詳細につきましては当院総務課までお問い合わせください。

## 編集後記

広報部メンバーが一部入れ替わり、新しい体制下での第一号誌となりました!見て楽しく読むための地域の情報発信誌となるよう努めてまいります。今後もよろしくお願ひします。

## 目次

- 理事長挨拶、法人理念・基本方針 2
- 新任医師紹介 …………… 3
- 2022年度 入院実績報告 …… 3
- 院内研究発表会開催報告 …… 4
- 外来患者さま満足度・待ち時間調査報告 5
- 健診科お知らせ、SDGs委員会始動! 5
- デイケア成仁の取り組み紹介 6
- 糖尿病・健康教室活動計画 …… 6
- びたみん通信 …………… 7
- 薬のよかハナシ …………… 7
- 外来診療担当医師表、お知らせ 8



理事長・院長  
上原 昌哉

## ごあいさつ

くまもと成仁病院の上原です。

厚労省の発表によりますと、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、第2類から第5類相当へ引き下げることが発表されました。この3年間、コロナ禍のために、健診などを控えていた方々も多いようです。

健康診断・がん検診の受診意向を2020年度と2021年度についてジョンソンエンドジョンソンの調査結果があります。健康診断やがん検診の受診を「控えたい」と回答した割合は、緊急事態宣言発令後の2020年4月から解除翌月にあたる6月まで

が最も多い結果になり、5割を超えました。この割合は時間の経過とともに減少傾向にあるものの、注目したいのは2021年度について「控えたい」とする人が健康診断、がん検診ともに約30%という結果でした。過去3年間(2017年~2019年)にがん検診を受診したことのある人(40歳以上の男女)でも4人に1人が2021年度のがん検診の受診を「控えたい」と考えていることもわかりました。胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん種における2020年度の検診受診率は、いずれも「受診済み」「受診予定」を合わせても30%程度に留まる結果となりました。これは国民生活基礎調査(厚生労働省、2019年)の受診率(約40~50%)よりも低い数値です。厚生労働省が目指すがん検診率50%との差がさらに広がる結果となりました。

健診やがん検診は、早期発見、早期治療につながりますので、本年度はぜひ皆様方も受診をお願い致します。



医療・介護・福祉の分野において、人と人とのつながりを大切にし、地域社会の健全な発展に貢献できる病院・施設を目指します。



- 1 患者様・利用者様の権利と意思を尊重し、満足のいく信頼と安心できる医療・介護サービスを提供します。
- 2 地域の医療・介護・福祉事業の中核となり、地域社会の向上に努めます。
- 3 安定した経営基盤を確立し、誇りとやりがいを持って働くことのできる病院・施設を目指します。

## 新任医師紹介

①最終学歴 ②専門科目(資格) ③趣味・特技等 ④今後の抱負等



消化器内科 豊田 直以

- ①熊本大学医学部
- ②消化器内科(日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本医師会認定産業医、ICD(インフェクションコントロールドクター))
- ③音楽鑑賞・読書
- ④消化器内科診療。特に胃カメラや大腸カメラの診断や治療を通じて、患者様・地域の皆様の健康に貢献できるよう頑張っております。

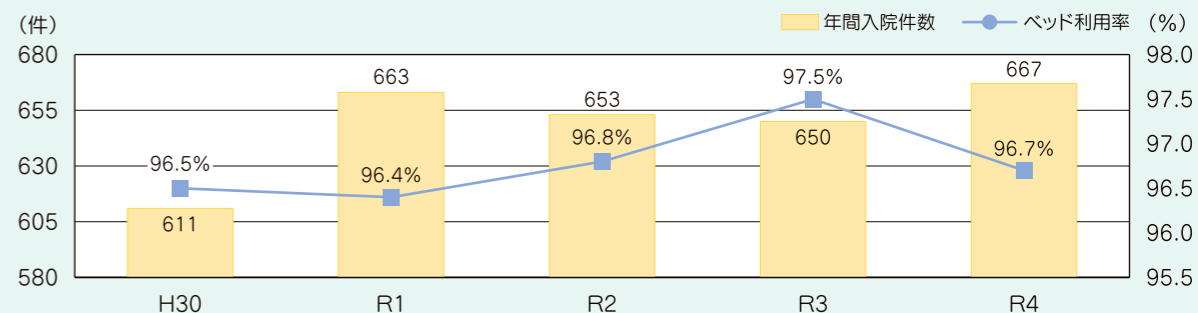
## 2022年度 入院実績報告

- ・医療病棟180床(地域一般病棟1:37床 回復期リハビリテーション病棟1:50床 医療療養病床:93床)
- ・介護保険病床42床(介護医療院:42床)

### 2022年度 ベッド利用率

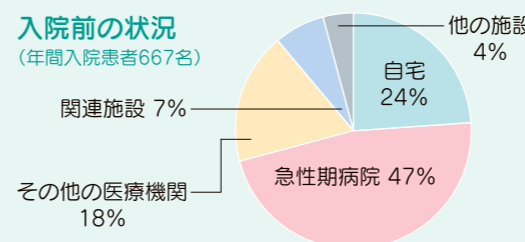
病棟種別	地域一般病棟	回復期リハビリ病棟	医療療養病床	介護医療院	全体
1日平均患者数	33.2名	48.5名	91.8名	41.1名	214.6名
ベッド利用率	89.7%	96.9%	98.7%	98.0%	96.7%

### 過去5年間の年間 年間入院受入件数とベッド利用率



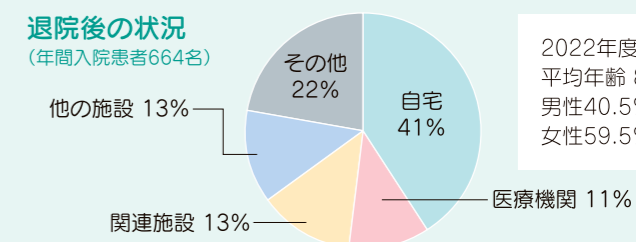
### 入院前の状況

(年間入院患者667名)



### 退院後の状況

(年間入院患者664名)



2022年度退院患者  
平均年齢 83.5歳  
男性40.5%  
女性59.5%

当院の病床は医療病棟と介護保険病棟(介護医療院)を合わせて222床ですが、2022年度は1日平均患者数214.6名(ベッド利用率:96.7%)となりました。入院は年間667名(55.6名/月平均)で、急性期病院からの入院が約半数となっており、特にリハビリや治療継続等の目的での入院の方が多く状況です。退院については、年間664名(55.3名/月平均)で、自宅退院が一番多く41%、次いで施設が26%となっており、施設の中でも関連の特別養護老人ホームや介護老人保健施設、介護医療院が13%となっています。

現在、当院の病棟種別は4種類となっており、内科疾患を中心とした治療からリハビリテーションの提供、その他介護保険での療養まで幅広い対応に適した環境となっております。今後も地域にとって必要な医療や介護が提供できる病院作りを目指してまいります。

# 令和4年度 院内研究発表会

令和5年3月19日、院内の研究発表会が行われました。全部署より15例の発表がありました。他部署の取り組みや業務改善、現状報告を聴くことができ、質疑応答や活発な意見交換ができました。コロナ禍で様々な制限がある中、どの部署も頑張っていたということを感じられた発表会となりました。また、他部署の報告を聴き、自部署でもできることや励みになることも多くあり、今回の院内研究発表会を活かし、今後更に患者さま・ご利用者さまに質の高いケアを提供していきます。

## 演題

- 1病棟:介護医療院における失禁関連(IAD)の改善と対策  
~洗浄方法の統一による効果の検証~
- 2病棟:A病院における身体拘束ゼロを目指した代替策の取り組み  
~身体拘束に対するスタッフの意識変化~
- リハビリ部:癌骨転移により大腿骨病的骨折を呈した左下肢免荷状態にて在宅復帰した症例
- 通所リハビリ:介護予防運動プログラムO3(オースリー)導入による取り組み  
~高齢者の身体機能に着目して~
- ささえりあ託麻:地域包括支援センターにおける社会福祉士  
~役割・現状・課題~
- 3病棟:酢酸とクエン酢酸の比較による胃管の衛生維持管理  
~清潔な胃管チューブをめざして~
- 5病棟:内服自立支援に向けたアセスメントシートの活用
- 6病棟:慢性期病院一般病棟における身体拘束の意識調査
- 地域連携室:当院の退院支援の現状と課題  
~多職種協働による利用者中心の退院支援を目指して~
- ふれあいの里:居宅介護支援事業所の現状の課題  
~同法人との医療連携を深めていくために~
- 医事課:当院の新型コロナウイルス感染症に係る発熱外来と未収金対応について
- QC1病棟:ノーリフトケアを取り入れて  
~利用者・介助者双方の負担軽減を目指して~
- QC2病棟:患者に合わせたポジショニングの統一  
~患者ファーストな2病棟を目指して~
- QC3病棟:床頭台をすっきりさせよう  
~みんなで一緒に片付け笑顔~
- QC6病棟:飛んでしまった水を確保せよ!  
~手洗い時に生じる水の拡散を抑制する~



発表の様子

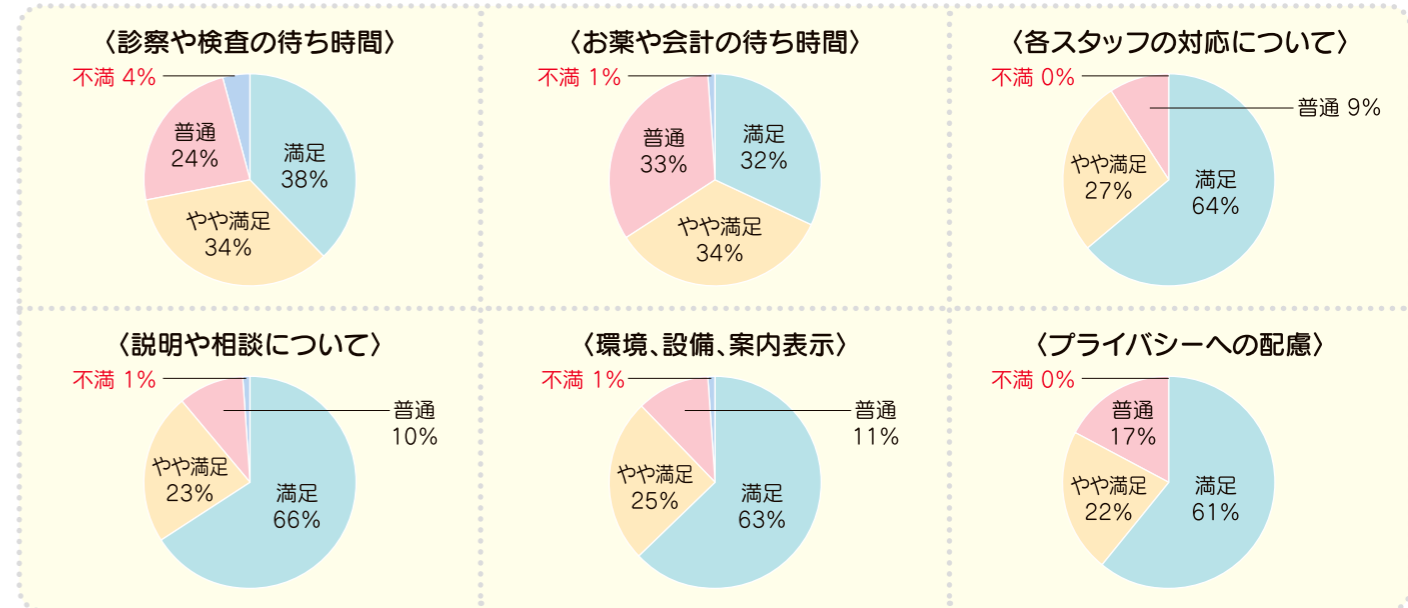


参加者及び質疑の様子

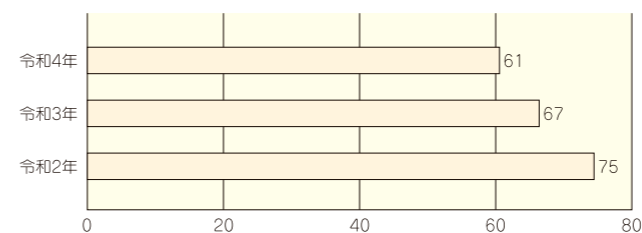
# 外来患者さま満足度・待ち時間調査報告

令和4年度の満足度・待ち時間調査の結果をご報告いたします。  
貴重なご意見を戴き、ご協力ありがとうございました。  
今後も引き続き、医療サービスの向上に努めてまいります。

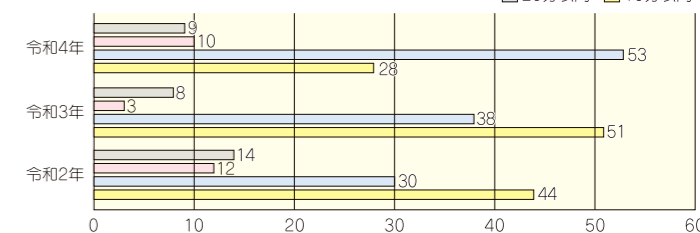
(実施期間:令和4年10月31日~令和4年11月11日)



受付から会計終了までの所要時間(分)



診察終了から会計まで(%)



## 肺がん・結核健診のご案内

当院では今年度より、熊本市在住の40歳~74歳を対象とした、熊本市の肺がん・結核健診を受けていただけるようになりました。熊本市や企業の特健診と合わせて受けていただくことも可能です。

- ★健診内容:問診・胸部エックス線検査(必要に応じて喀痰細胞診)
- ★料金:40歳~69歳の方500円/70歳以上の方は無料となります。  
(市県民税非課税世帯の方/生活保護受給世帯の方も無料です。)  
(問診により喀痰細胞診が必要となる方は別途500円必要となります。)

肺がんは日本のがんによる死亡原因を多く占めるがんです。自覚症状が出にくいので、定期的に健診を受け検査をしていくことが重要です。年に1回の健診で、ご自身の健康状態を確認し、健康づくりにつなげていきましょう。

詳しいお問い合わせ・ご予約は  
平日月曜~金曜 13時~15時  
くまもと成仁病院 健診室  
096-380-7022  
までご連絡ください。



## SDGs委員会始動!!

最近、SDGsという言葉を目にする機会が多くなったのではないのでしょうか? 昨年度より、「これからの世界を、よりよくするのは、あなたです」をスローガンに、SDGsの取り組みを始めました。2030年までに、持続的に取り組める目標として、「節電」や「節水」だけでなく、コピー用紙の削減や再利用をはじめ、フードロス減らすためのフードドライブへの参加などを始めています。今後は、家庭で使わなくなった衣服や日用品などのフリーマーケットなどを企画しています。

成仁会の理念は、「医療・介護・福祉の分野において、人と人とのつながりを大切にし、地域社会の健全な発展に貢献できる病院・施設を目指します」を掲げています。これから先も、「つながり」を大切にしながら、SDGsの取り組みをすすめるとともに、地域社会の発展に貢献できるように、職員全員で頑張っていきたいと思っております。みなさんも一緒にSDGsに取り組んでみませんか?



# デイケア成仁

もっと笑顔で  
輝ける明日を

コロナ緩和

## インフォメーション



定期(餅つき・節分・桃の節句・フラワーアレンジメント)

カラオケ

eスポーツ対外交流戦

## 「03(オースリー)の紹介」



ラダー

モルック

ポーリング

コアヌードル

要支援の方を対象に、リハビリスタッフがアクティビティや様々な道具を取り入れた運動を行います!

## 3年ぶりに健康教室再開!!

今年度より、3年ぶりに「健康教室」を再開します。まだ、コロナウイルスの流行に終息は見られませんが、感染の状況をみながら再開したいと考えています。今まで参加されていた方や、これから参加しようと思われる方も参加は自由です。これからの健康教室の予定は、コロナウイルスによる閉じこもりによる体力低下の改善や、上原理事長による講話、ランチバイキング(糖尿病教室同時開催)などを企画しています。新しい企画が出来次第、みなさまにお知らせします。これからも、みなさんの健康維持推進にお役に立てるように頑張りたいと思いますので、ご期待下さい。



## 糖尿病専門部会より、年間活動計画のご案内

3年前までは、糖尿病教室を開催しておりましたが、コロナ禍となり院内での糖尿病教室ができない状態が続いています。今後は、感染リスクレベルによりですが教室再開ができることを糖尿病専門部員一同願っております。

令和5年度の年間活動計画として次のようなことを考えています。

- 1年間4回 糖尿病通信の発行 (令和5年度は糖尿病の基礎から合併症まで)
- 2健康教室とコラボの出前講座(理事長講話)
- 3ランチバイキング(お弁当の予定)開催
- 4ウォークラリー大会への参加
- 511/14世界糖尿病DAYイベント参加



## びたみん通信

VOL. 28

### 質の良い睡眠と食事のはなし

新年度に入り、環境変化に疲れていませんか。食事は活動力のもと、日々の生活に欠かせないものです。朝ごはんを食べることは脳や体へのエネルギー補給にもつながり、昼間の集中力をアップさせます。タンパク質源の食品に含まれる「トリプトファン」というアミノ酸は夜の眠りの材料になります。質の良い睡眠のためには、朝からバランスの良い食事をとることが重要なのです。

朝起きて太陽の光を浴びると、体内時計がリセットされます。

トリプトファンが多く含まれている食品



納豆や豆腐などの大豆製品、魚や肉、卵、乳製品などに特に多く含まれています。

### 管理栄養士による訪問栄養食事指導を行っています

通院などが困難な方のために管理栄養士がご家庭へ定期的に訪問し、療養上必要な栄養や食事の管理及び指導を行っています。お一人おひとりの生活に合わせたご提案をいたします。\*指導には医師の指示が必要です。

## 薬のよかハナシ

vol. 13

残薬を減らそう!

～持続可能な社会の実現のためにできること～

病院からもらったお薬、飲み忘れてお手元に残ってはいませんか?

飲み忘れなどで残った薬のことを「残薬」と呼びます。数年前のデータですが、日本薬剤師会の調査によると75歳以上の在宅患者の残薬薬剤費は、実に年間約475億円(推計)もあったとのこと。毎年これ程の貴重な「資源」が、使われることなく捨てられているのかと思うと残念でなりません。超高齢化が進むなか、その額は年々膨らんでいると思われます。年齢とともに病気が重なり、複数の医療機関から多数の薬を処方され、飲み忘れり、自己判断から中断しているうちに、いつの間にか管理しきれないほどの大量の薬が目前に…という現実。

超高齢社会を突き進む日本の国民医療費は、増加の一途を辿っています。医療費は保険料、税金、自己負担から成り立っています。私たちが窓口で支払う負担額は、多くの場合3割以下。残り7割以上は他の人の世話になっていることを意識しておく必要があります。そうでなければ、医療保険制度そのものが維持できなくなってしまうからです。

国民医療費のなかで、薬剤費の割合は無視できないほど大きい割合を占めています(約2割)。そのため、国はジェネリック医薬品の積極的活用を通じて薬剤費の抑制を図ってきました。ひとつの方策ではありますが、弊害も見えています。果たして国任せで良いのでしょうか? 私たち1人1人、患者1人1人にできることはないのでしょうか? あります! それは残薬を減らすことです。

薬は、決められた量を、決められた期間、きちんと服用することが基本。自己中断や間違った使い方をしてしまえば、症状の悪化を招きかねません。もしも、飲み忘れなどで処方された薬が多数残っているのなら、隠すことなく診察時にそのことを伝えましょう。恥ずかしいとか、怒られるのではないかと、なんてことは気にしなくて大丈夫です。そうすれば、処方日数を調整するなどして、不必要な処方を減らすことができますし、多くの場合窓口負担も軽減できます。そして、何よりも適切な治療につながります。

残薬があれば薬剤師に気軽に相談してみてください。適切に服用し続けられる方法を一緒に考えましょう。1人1人の意識を変えることで医療費は必ず減らせます。残薬を解消して、自身の医療費を抑えるとともに国民医療費の抑制にも貢献しましょう。

